

2024. 2. 21

北九州市教職員組合にゅうす



なかなか観ることのできない映画！観ることができてよかった！たくさんの方に伝えてほしい！ ～第7回未来に伝える平和祭への参加ありがとうございました！～①

2月11日に「第7回未来に伝える平和祭」が行われました。映画「教育と愛国」は、参加者に強烈な印象を与えました。「教科書」への「検定制度」という攻撃は、今に始まったことではありませんが、この「ドキュメント映画」を観ると政治が教育に介入してくる恐ろしさがひしひしと伝わってきます。日本は本当に民主主義国家なのかと心配になります。参加者の感想です。



・両論がなければ、議論にならない。民主主義は即決できず、その議論の歩みは遅さとしてもどかしいが、議論できる世の中は戦争を回避する力を育てていると思う。

・教育が政治の問題。何を大切に教育を行っていくのか、子ども中心ではなく、政府の考える国のため教育が行われたのは、戦前のことだけではない。今も私たちが見えないよう気づかないように、大きな力で大きな組織として、働きかけられていること おそろしく思います。ひとりひとりの考えだけでは無く組織・団体の指示のもと動くことのおそろしさ、しっかり真実を知ることの大切さを感じます。

・映画をみた後、またそれぞれが今の日本を含め 世界のことを調べてほしいと小川委員長が言われたその意味がよくわかりました。戦争への道へと進む日本をなんとかとめたいと思いました。

・教科書検定をめぐる行われてきたことがとても具体的に示されていて、とても勉強になりました。教育が政治の圧力によってゆがめられていっていることに怖さを感じました。現在、日本はどんどん危ない方向に向かっていることを止めることができるのか…止めなければ、またあの恐ろしい世界にもどっていくと感じています。

・安倍政権によって教育基本法が変えられて以降、教科書検定の強化によって改悪され続けていることをあらためて確認し、おそろしくなりました。政治そのものが戦時中のような体制に近づいていることを日教組を中心とした反対の運動でストップせねばと感じます。

・教育にたずさわる者として大変有益な内容の映画でした。史実に基づいて、ていねいに作られた映画だと思いました。教科書の内容に政治が介入され、わい曲されているということの怖さを感じました。様々な曲面からものごとを見て考え感じ自分の頭で正しい判断のできる子ども達を育てていくことの大切さを感じました。

・以前から話題になっていて、ぜひ見てみたいと思っていました。今回のチャンスをいただきありがとうございます。とくに、保守の立場の人の言葉が聞けたのもおもしろかったですね。

・あらためて、今の教育が危機的な状況にあるということが伝わってきました。とても大切な映画だと思いました。



・自民党や保守が何をねらっているのかが、ていねいにわかった。多くの人に見てほしい。

NO.41につづく

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

